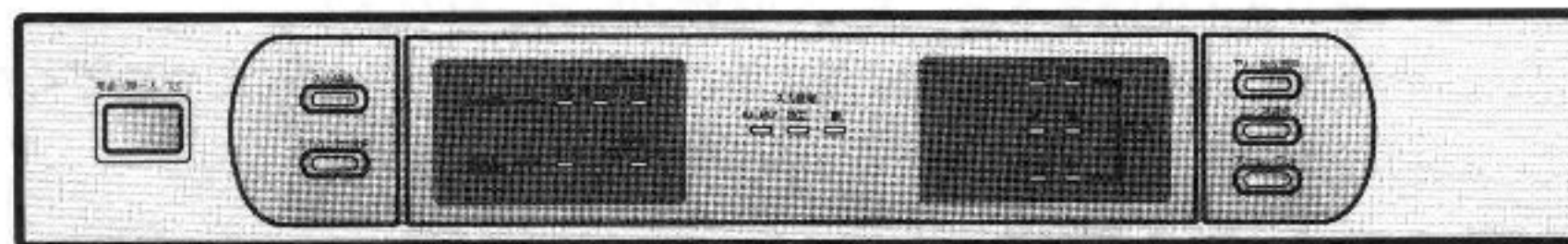


ビクター-MUSEデコーダー  
型名 **HV-MD2**

⚠ご使用前に**安全上のご注意** (P.2~4) を必ずお読みください。  
There are important safety precautions on page 2-4 in this instruction booklet.  
Please have someone who reads Japanese explain them to you.

*Hi-Vision*





**お買い上げいただきありがとうございます**

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
そしてお読みになったあとは、後日役に立つこともありますので、  
保証書と一緒に大切に保管してください。

# 安全上のご注意

## 「安全上のご注意」の絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵（マーク）が表示されています。これらは、あなたや他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解して本文をお読みください。

	<b>警告</b>	この絵表示(文字含む)は、そこに書かれていることを無視すると、死亡したり重傷を負うことが想定される内容です。十分注意してください。
	<b>注意</b>	この絵表示(文字含む)は、そこに書かれていることを無視すると、傷害を負ったり、物的損害が想定される内容です。十分注意してください。

## 絵表示の説明

### ●注意(警告を含む)が必要なことを示す記号



一般的注意



感電注意

### ●してはいけない行為(禁止行為)を示す記号



禁止



水場での使用禁止



分解禁止



接触禁止

### ●必ずしてほしい行為(強制・指示行為)を示す記号



プラグをコンセントから抜く

## 警告



### 万一、次のような異常が発生したときは

- 煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常のとき。
- 画面が映らない、音が出ないなどの故障のとき。
- 本機の内部に水や物が入ってしまったとき。
- 本機を落としたり、キャビネットが破損したとき。

このようなときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、(煙などが出ているときは、それが出なくなったことを確かめてから)販売店に修理を依頼してください。

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

なお、お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。

## 警告 設置するときの警告

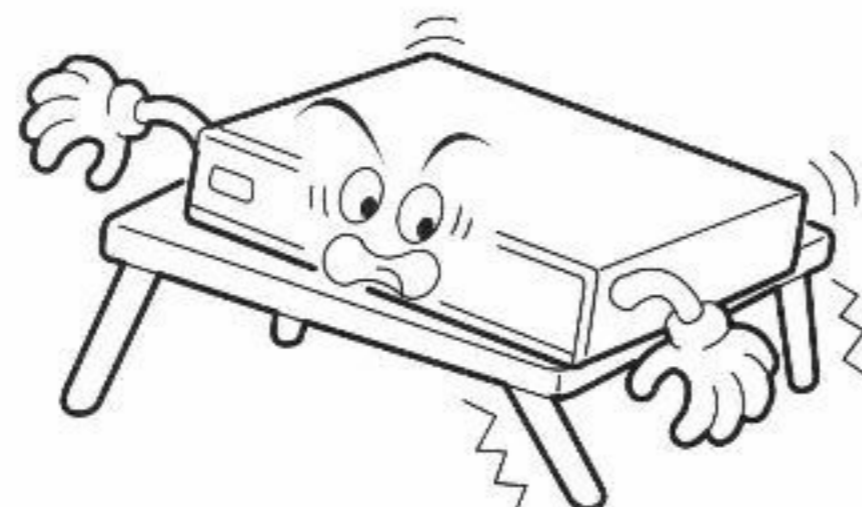
### 不安定な場所に置かない

ぐらついている台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする原因となります。



### 指定の電源電圧(交流100V)以外で使用しない

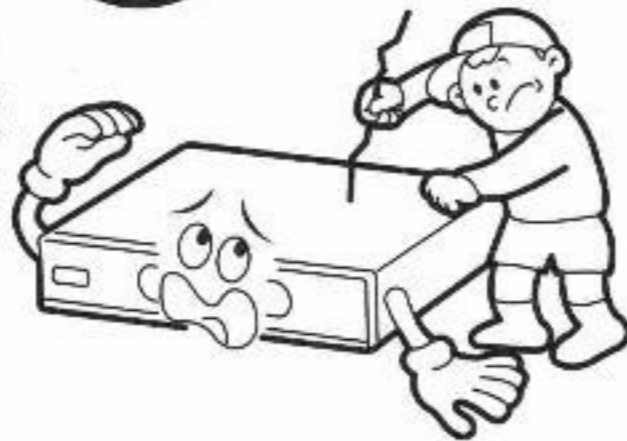
表示された電源電圧以外では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



## ⚠ 警告 使用するときの警告

### 本機内部に物を入れない

金属や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。



### 本機の裏ぶたは外さない

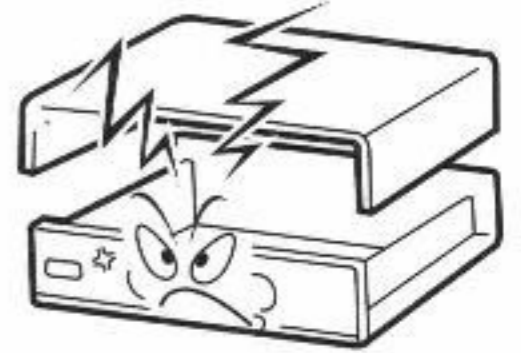
本機内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。



感電注意



分解禁止



### 本機に水をかけない

風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。水などの入った容器(花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など)は、こぼれたりしますので、本機の上に置かないでください。



また、雨天、降雪中、海岸、水辺での使用中はご注意ください。

### 雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない

感電の原因となります。



接触禁止

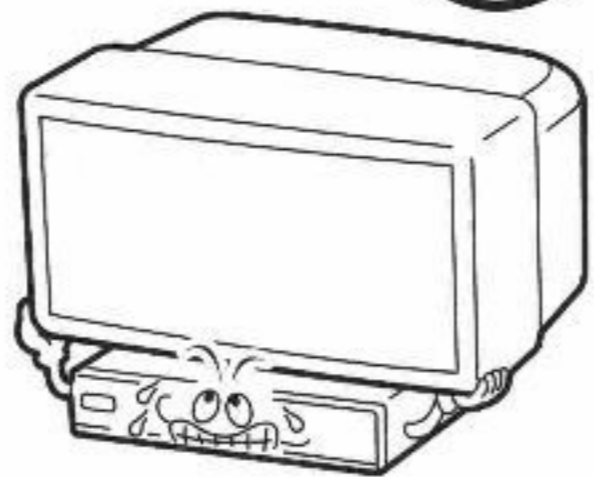


### 本機の上に物を置かない

重いものを置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。



また、テレビなどの重いものを置くと、キャビネットを痛めたり故障の原因になります。



### 本機を改造しない

火災・感電の原因となります。



分解禁止

### 電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードを加工したり・無理に曲げたり・ねじったり・引っ張ったり、電源コードを熱器具に近づけたりしないでください。火災・感電の原因となります。



電源コードが切れたり、芯線が出たりしたときは、販売店に電源コードの交換を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



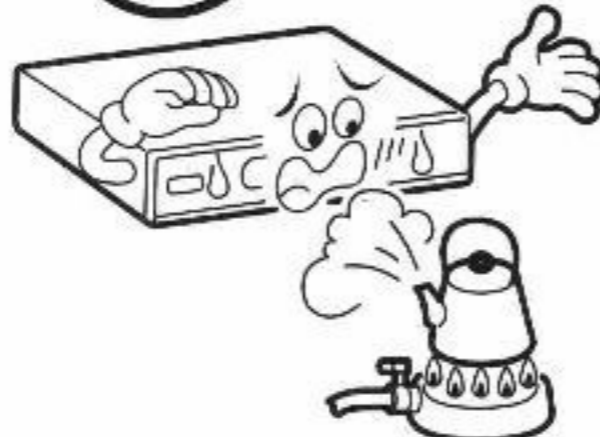
## ⚠ 注意 設置するときの注意

### 次のような場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多いところ
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- 熱器具の近く

また、直射日光の当たるところに置くと、キャビネットが変質することがあります。



### 本機の通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと、内部の熱が逃げませんので、火災の原因となることがあります。

次のことにご注意ください。

- 壁や家具などから10cm以上離す
- 押し入れ、本箱など狭いところに入れない
- じゅうたんや布団などの上に置かない
- テーブルクロスなどを掛けない
- あお向け、横倒し、逆さまにしない

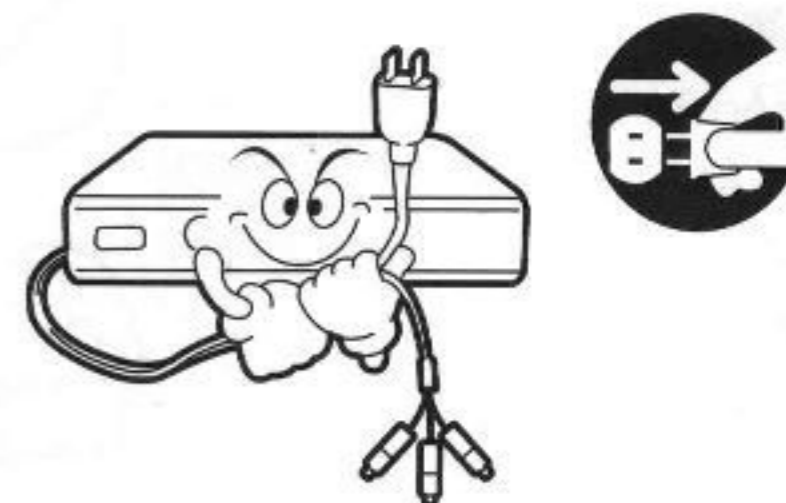


## ⚠️ 注意 設置するときの注意(つづき)

### 移動するときは接続コード類を外す

コードを傷つけますので、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線などの接続コードをはずしてください。

コードに傷がつくと、火災・感電の原因となることがあります。また、故障の原因となりますので、衝撃を与えないようにしてください。



## ⚠️ 注意 使用するときの注意

### 本機に乗らない

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。



### 電源コードは電源プラグを持って抜く

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。

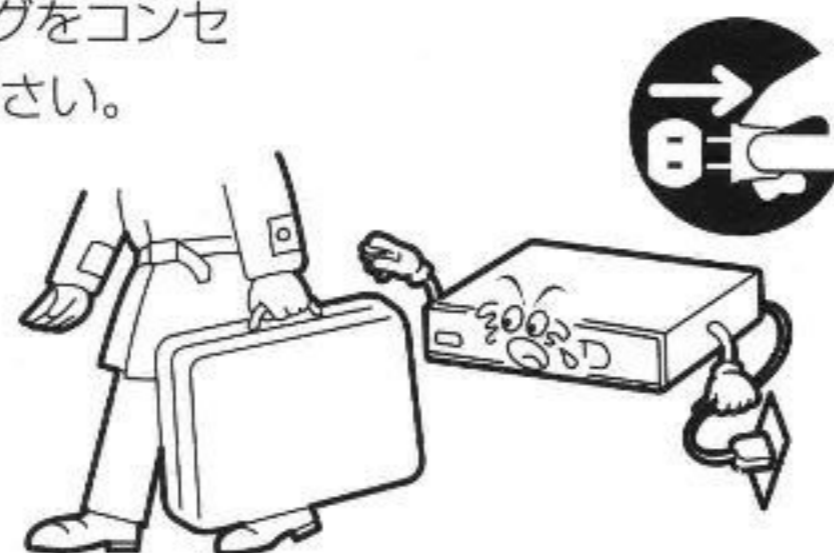


また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



### 長期間本機を使用しないときは、電源プラグを抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。



### お手入れをするときは電源コードを抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。



### 5年に一度は本機内部の掃除を販売店に依頼する

本機の内部にホコリがたまったらそのまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。



### お手入れのしかた

#### キャビネットの汚れは

柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。

キャビネットが変質したり、塗料がはげることがありますので、次のことに注意してください

- シンナーやベンジンでふかない
- 殺虫剤など揮発性のものをかけない
- ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない



# 目次

ご使用前にお読みください

安全上のご注意 .....	2
各部の名称と機能 .....	6

## 接続と操作

接続方法、Hi-Vision  
やWOWOWの見かた、  
録画のしかたを説明  
します

お手持ちのテレビ・  
ビデオの種類に合  
わせて該当するペー  
ジをお読みください

### ▶ AV-32EM6・HR-W5/W1との接続 ..... 8

ビクター製ハイビジョンテレビAV-32EM6とW-VHSビデオデッキHR-W5、HR-W1を組み合わせて使うときの接続と操作を説明します。

### ▶ AV-32EM6・BSビデオとの接続 .....10

ビクター製ハイビジョンテレビAV-32EM6とBS機能付きビデオデッキを組み合わせて使うときの接続と操作を説明します。

### ▶ BSテレビ/ワイドテレビ・BSビデオとの接続...12

BS機能付きテレビ、またはBS機能付きワイドテレビ（ビクター AV-32H1など）とBS機能付きビデオデッキを組み合わせて使うときの接続と操作を説明します。

### ▶ BSテレビ/ワイドテレビ・ビデオとの接続 .....14

BS機能付きテレビ、またはBS機能付きワイドテレビ（ビクター AV-32H1など）とBS機能が付いていないビデオデッキを組み合わせて使うときの接続と操作を説明します。

サラウンド音声を  
お楽しみになる  
ときにお読み  
ください

### ▶ サラウンドを楽しむ..... 15

ハイビジョン放送  
やMUSE-LDの音  
声を選択する  
ときにお読み  
ください

### ▶ ハイビジョンの 音声を選択する

- 二重音声の選択..... 16
- TV/独立音声の選択..... 16

必要にあわせてお読みください

用語解説 .....	7
仕様 .....	16~17
故障かな?と思ったら .....	17
保証とアフターサービス .....	18

# 各部の名称と機能

## 前面

### 電源ボタン

本機の電源を入/切します。

### 入力切換ボタン・ランプ

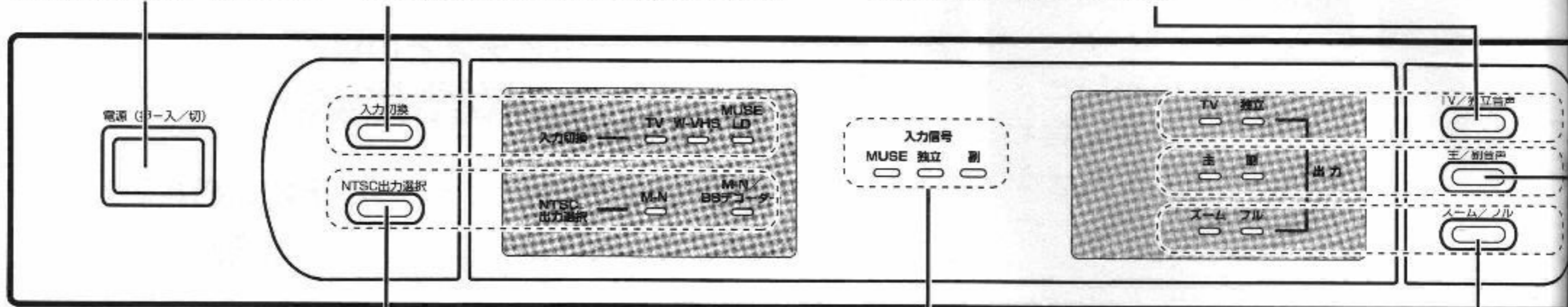
テレビ (TV)、ビデオ (W-VHS)、ハイビジョンLD (MUSE-LD) のうち、どの機器の映像を見るか選びます。右側のランプで、どの機器を選んでいるか確認できます。

### 主/副ボタン・ランプ

主音声、副音声、主+副音声を切り換えます。左側のランプで、どの音声を選んでいるか確認できます。

### TV/独立ボタン・ランプ

テレビ音声 (TV) と独立音声 (独立) を切り換えます。左側のランプで、どちらを選んでいるか確認できます。



### NTSC出力選択ボタン・ランプ

BSデコーダーを接続しているときに使います。テレビとビデオに映像を送るか、両方にハイビジョン番組とBSデコーダーの映像を振り分けて送るかを選びます。

**M-N** : テレビとビデオに映像を送ります。

**M-N/BSデコーダー** : テレビとビデオのうち、入力切換で選んだ機器にハイビジョン番組の映像を送ります。もう一方の機器にBSデコーダーの映像を送ります。

### 入力状態表示ランプ

MUSE信号の状態を表示します。

**MUSE** : MUSE信号があるときに点灯します。

**独立** : 独立音声があるときに点灯します。

**副** : 副音声があるときに点灯します。

### ズーム/フルボタン・ランプ

S1映像端子と映像端子から出力する映像の状態を、お手持ちのテレビに合わせて選びます。ワイドテレビはフル、通常のテレビはズームを選びます。左側のランプで、どちらを選んでいるか確認できます。

※ハイビジョン信号 (Y、Pr、Pb端子) からの出力には影響ありません。

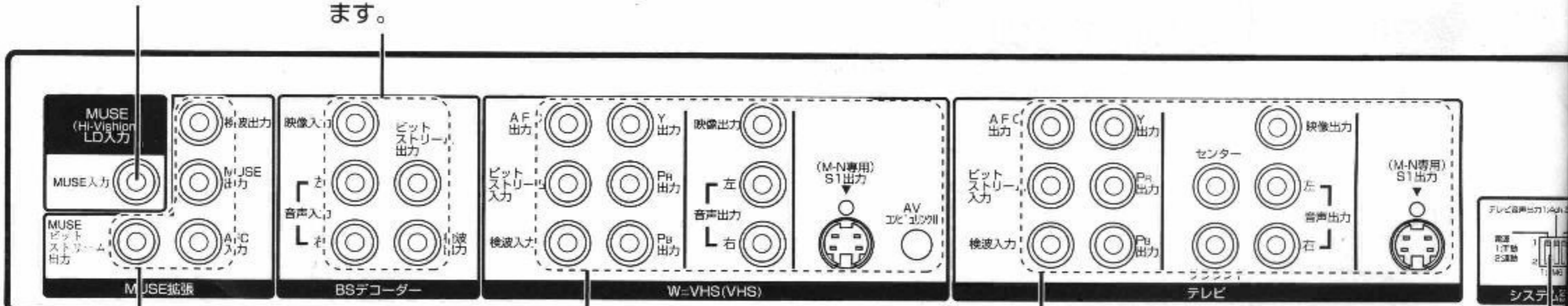
## 後面

### MUSE-LD接続端子

MUSE-LDプレーヤーを接続します。

### BSデコーダー接続端子

WOWOWなどBS有料放送を見るとき、BSデコーダーに接続します。



### MUSE拡張接続端子

将来、MUSE有料放送が始まったとき、デコーダーなどを接続します。

### ビデオデッキ接続端子

W-VHSまたはビデオデッキと接続します。

\*AVコンピュリンクII端子は、HR-W1/HR-W5に接続する以外は使用できません。

### テレビ接続端子

BS付きテレビと接続します。

### システム設定スイッチ

お使いのテレビやビデオにあわせて、スイッチを切り換えます。

# 用語解説

## AFC (Automatic Frequency Control)

ハイビジョン放送受信時、BSチューナーの受信周波数の変動を補正する機能。

## Aモード音声

音声の種類のひとつ。音質はFM放送以上。テレビ音声と独立音声がある。

## AVコンピュリンクII

接続したビデオデッキの操作で、本機を連動して使うことができる機能。

## Bモード音声

音声の種類のひとつ。音質はCD(コンパクトディスク)と同等。

## BSデコーダー

BS有料放送(JSB、St.GIGA)のスクランブルを解除する機器。

## NTSC(エヌティエスシー)/現行方式

現在、普通に放送されているカラーテレビの放送方式。

走査線は525本。横縦比は4:3。

## MUSE(ミューズ)

ハイビジョンを圧縮する方式の名称。MUSE方式で圧縮した信号を、MUSE信号と呼ぶ。

## MUSEデコーダー

MUSE信号を、ハイビジョン信号に戻すための機器。

ハイビジョンテレビやモニターでハイビジョン映像を見たり、W-VHSビデオデッキでハイビジョン映像を録画/再生できるようにする。

## MUSE-NTSCコンバーター

MUSE信号を、現行のNTSC信号に変換するための機器。(本機にも内蔵しています。)衛星放送のハイビジョン番組やハイビジョンレーザーディスクを、現行のテレビで見たり、ビデオデッキで録画・再生したりできるようにする。

## W-VHSビデオデッキ

専用のカセットテープを使ってハイビジョン信号を録画/再生できるビデオデッキ。VHS/S-VHSカセットテープを使った現行方式の録画/再生もできる。

## 検波

衛星放送で送られてくる電波を、ハイビジョンに変換できるように処理する機能。

## スクランブル放送

映像・音声の信号を暗号化した放送。WOWOWやSt.GIGA、CATVの一部で使われている。

## ダブルデコーダー機能

BSテレビ、BSビデオ、BSデコーダーを接続した時に、テレビとビデオの両方にデコーダーを接続したような使い方ができる機能。「ハイビジョン番組を見ながらWOWOWを録画」したり「WOWOWを見ながらハイビジョン番組を録画」したりすることができる。

## ハイビジョン(Hi-Vision)

現行のテレビ放送(NTSC)の約5倍の情報量を持つ高画質の放送方式。

走査線は1125本。横縦比は16:9。

## ビットストリーム

衛星放送で送られてくるデータを取り出したもの。

WOWOWの電波を受信した場合、ビットストリームにスクランブルを解除するための鍵となる信号が含まれる。

## ワイドテレビ

映像の横縦比が16:9となっているテレビの名称。

非同期  
(最大300W)

アンプ  
出力

# AV-32EM6・HR-W5/W1との接続

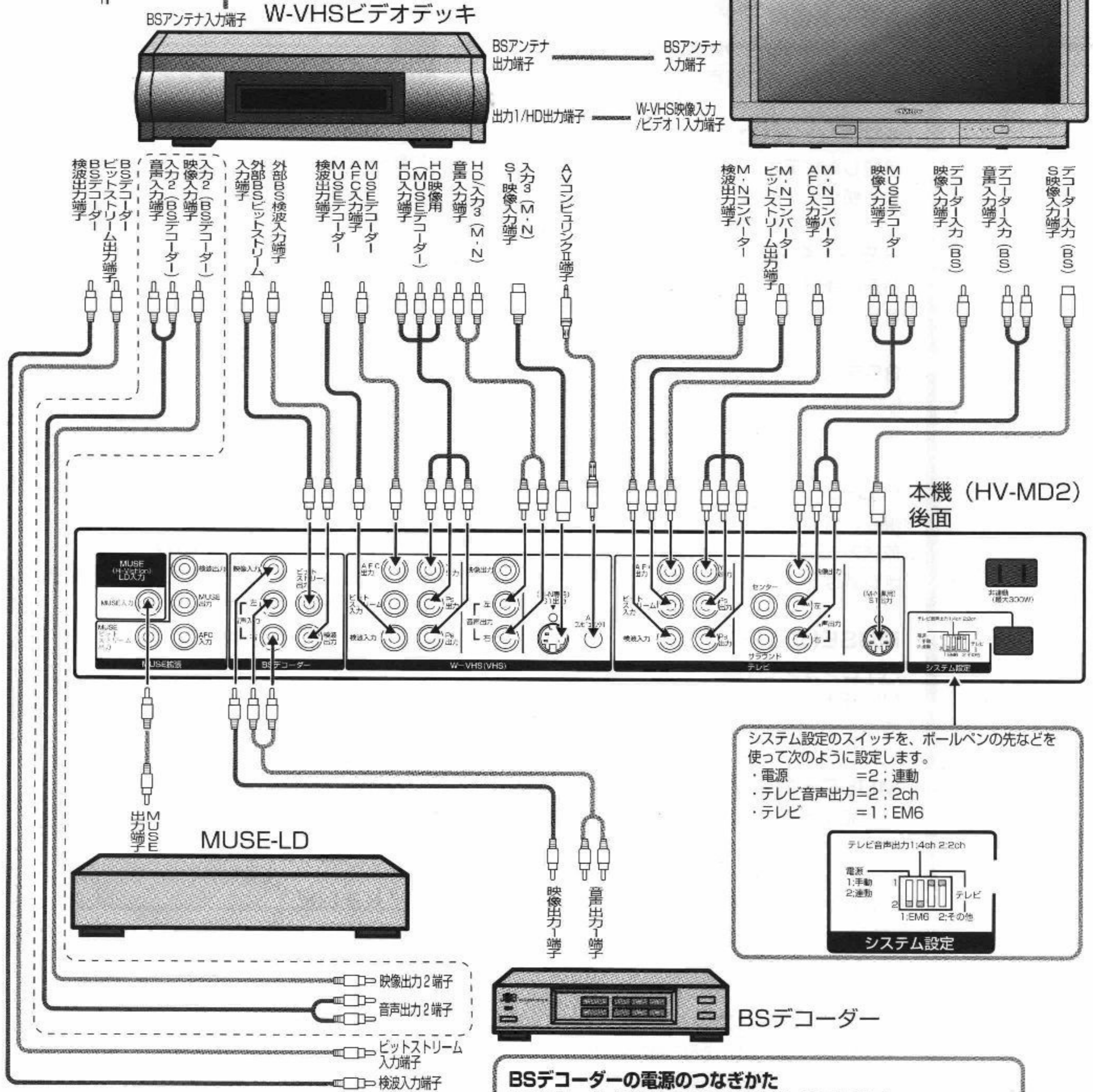
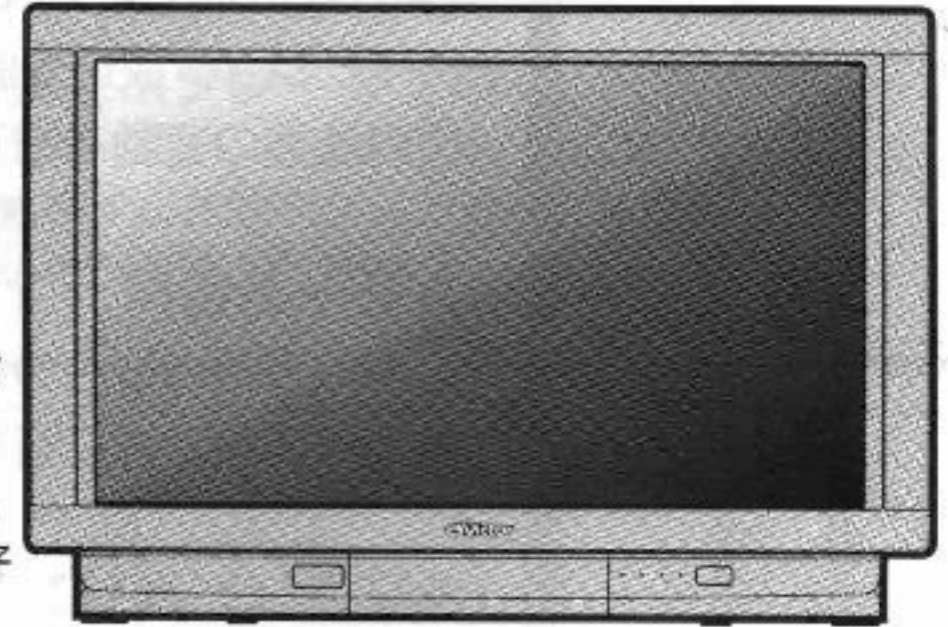
- 必ず接続する機器の電源を切ってから接続してください。
- 接続コードは、市販のピンコードをお使いください。
- 接続する機器の取扱説明書をあわせてお読みください。

## BSアンテナ



HR-W5のときは：この接続をしてください。  
 HR-W1のときは：W-VHSとBSデコーダーの接続（）の部分は不要です。  
 ・本機のW-VHS映像出力を、W-VHSの入力2映像入力に接続します。  
 ・本機のW-VHS音声出力を、W-VHSの入力2音声入力に接続します。

## AV-32EM6



システム設定のスイッチを、ボールペンの先などを使って次のように設定します。

- ・電源 = 2; 連動
- ・テレビ音声出力 = 2; 2ch
- ・テレビ = 1; EM6

システム設定

**BSデコーダーの電源のつながりかた**  
 1. BSデコーダーの電源を、W-VHSのコンセントにつなぎます。  
 2. W-VHSビデオデッキのBSデコーダーオンラインスイッチを「連動」側にします。

本機とAV-32EM6を組み合わせているときは、テレビでBSチャンネルを選ぶと自動的に電源が入り、それ以外の場合は電源が切れます。BSジャック時も電源が入ります。BS/CS電源オートオフ(メニュー)設定が「切」のときはAV-32EM6の電源入/切と本機の電源入/切が連動します。

●手動で電源を入れたときは、自動的に電源が切れませんのでご注意ください。



入力切換ボタン 入力切換ランプ/NTSC出力選択ランプ

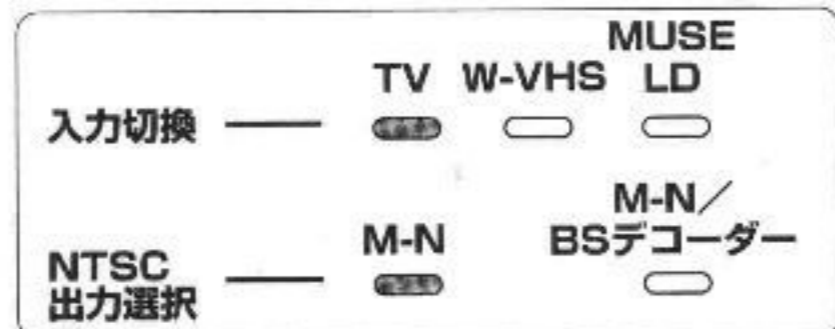


## ハイビジョン放送を見るには

**テレビ** BS9チャンネルを選ぶ

**本機** 操作は必要ありません

自動的にハイビジョン放送が見られる状態になります。



- 多重音声の番組を見るときは、16ページの方法で音声を選択してください。
- BSチャンネルのタイマー録画中は、ビデオが優先されるため、上図の状態になりません。

## WOWOWを見るには

**テレビ** BS5チャンネルを選ぶ

**BSデコーダー** 電源を入れる

- 必要に応じてWOWOWやSt.GIGAの音声を選択してください。

**本機** NTSC出力選択ボタンを押し「M-N」を選ぶ  
「M-N」のランプだけが点灯した状態になります。



## MUSE-LDを見るには

**テレビ** BS9チャンネルを選ぶ

**本機** 入力切換ボタンを押し「MUSE-LD」を選ぶ

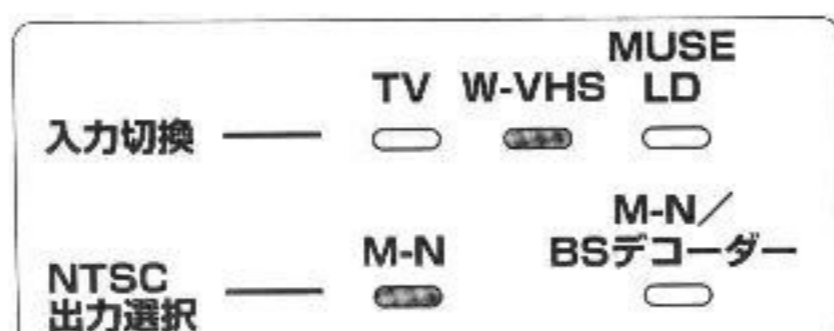


- 多重音声のLDを見るときは、16ページの方法で音声を選択してください。

**MUSE-LD** 電源を入れ、LDを再生する

## ハイビジョン放送を録画するには

**本機** 電源を入れる  
入力切換ボタンを押し「W-VHS」を選ぶ



(つづく)

## ハイビジョン放送を録画するには(つづき)

**ビデオ** BS9チャンネルを選び、録画の操作をする

**テレビ** 録画中の番組を見るときは、ビデオ1を選ぶ

## ハイビジョン放送をタイマー録画するには

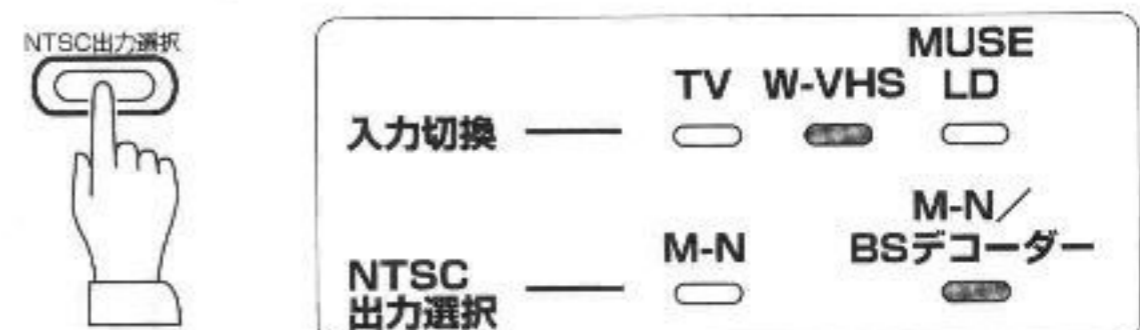
**本機** 操作は必要ありません

自動的にハイビジョン放送がタイマー録画できる状態になります。

**ビデオ** BS9チャンネルの録画予約をし、タイマーボタンを押す

## ハイビジョン放送録画中にWOWOWを見るには

**本機** NTSC出力選択ボタンを押し、「M-N/BSデコーダー」を選ぶ



**ビデオ** BS9チャンネルを選び、録画の操作をする

**テレビ** BS5チャンネルを選ぶ

**BSデコーダー** 電源を入れる

- 必要に応じてWOWOWやSt.GIGAの音声を選択してください。

## WOWOW録画中にハイビジョン放送を見るには

**本機** 入力切換ボタンを押し「TV」を選ぶ

NTSC出力選択ボタンを押し、「M-N/BSデコーダー」を選ぶ



**BSデコーダー** 電源を入れる

- 必要に応じてWOWOWやSt.GIGAの音声を選択してください。

**ビデオ** BS5チャンネルを選び、録画の操作をする

**テレビ** BS9チャンネルを選ぶ



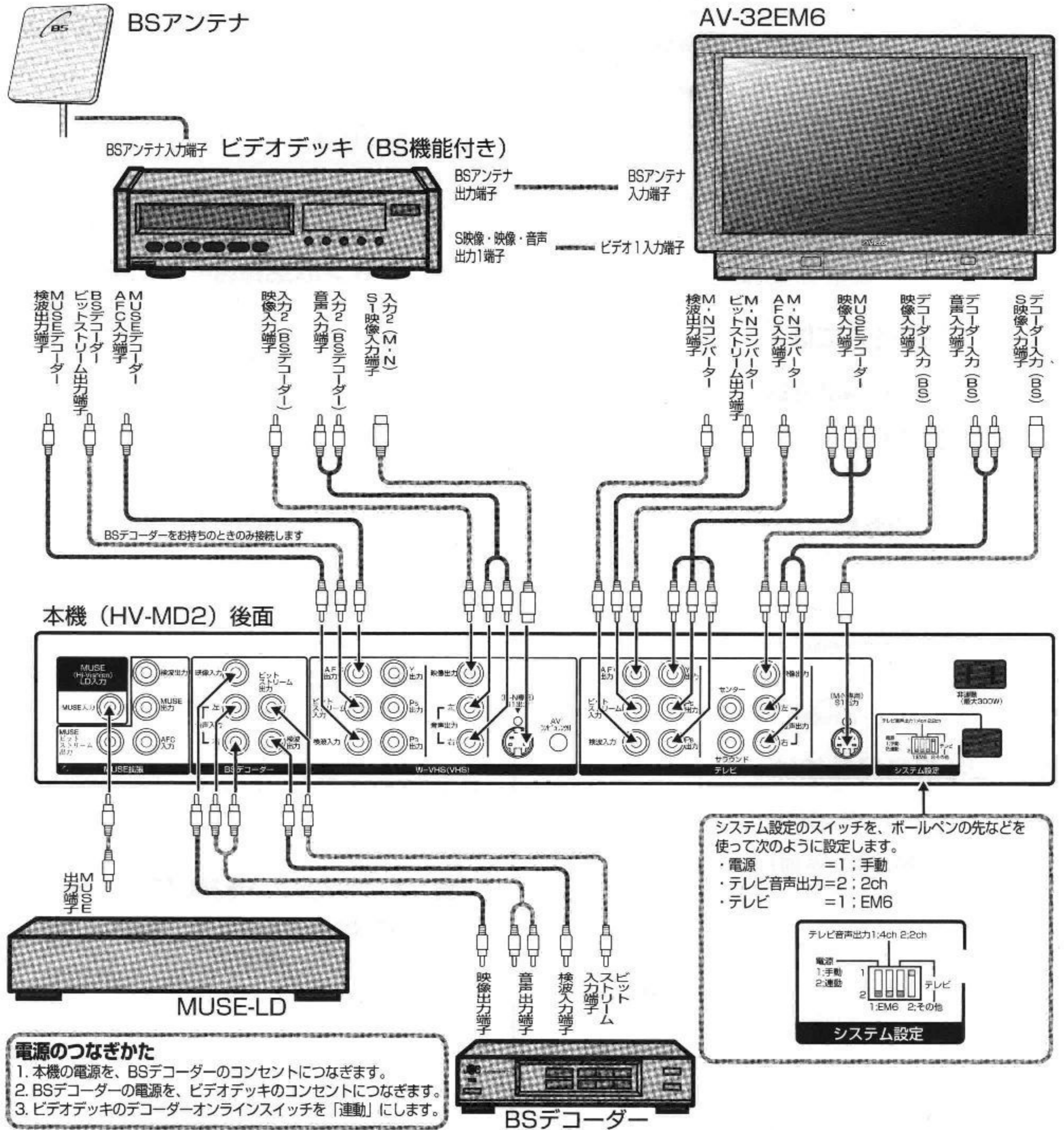
タイマー録画中は

タイマー録画しているときは、NTSC出力選択の操作ができません。タイマー録画をするときは、NTSC出力選択ボタンで「M-N/BSデコーダー」を選択しておいてください。

# AV-32EM6・BSビデオとの接続

- 必ず接続する機器の電源を切ってから接続してください。
- 接続コードは、市販のピンコードをお使いください。
- 接続する機器の取扱説明書をあわせてお読みください。
- 当社のビデオを例に説明しています。
- 機器によっては端子などの名称が異なる場合があります。

ハイビジョン番組の映像は、NTSCに変換されてビデオに録画されます。このため、録画した番組は、ハイビジョン本来の画質にはなりません。



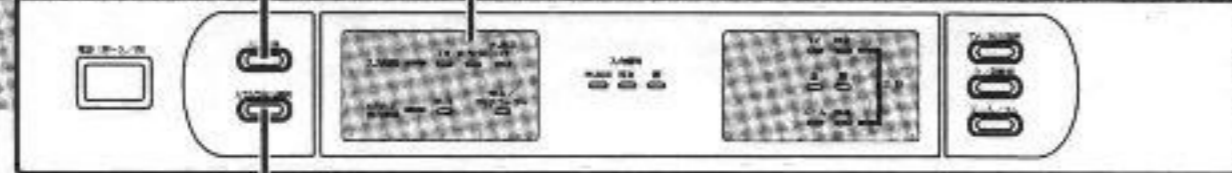
## ハイビジョン放送を見るには

- ビデオ** 電源を入れる
- テレビ** BS9チャンネルを選ぶ
- 本機** 電源を入れる  
入力切換ボタンを押し、「TV」を選ぶ  
●多重音声の番組を見るときは、16ページの方法で音声を選択してください。

## WOWOWを見るには

- ビデオ** 電源を入れる
- BSデコーダー** 電源を入れる  
●必要に応じてWOWOWやSt.GIGAの音声を選択してください。
- テレビ** BS5チャンネルを選ぶ
- 本機** NTSC出力選択ボタンを押し「M-N」を選ぶ

入力切換ボタン 入力切換ランプ/NTSC出力選択ランプ



NTSC出力選択ボタン

## MUSE-LDを見るには

- ビデオ** 電源を入れる
- テレビ** BS9チャンネルを選ぶ
- 本機** 入力切換ボタンを押し「MUSE-LD」を選ぶ



- 多重音声のLDを見るときは、16ページの方法で音声を選択してください。

**MUSE-LD** 電源を入れ、LDを再生する

## ハイビジョン番組を録画するには

- 本機** 電源を入れる
- 入力切換ボタンを押し「W-VHS」を選ぶ



- ビデオ** BS9チャンネルを選び、録画の操作をする
- 録画中の番組を見るときは、テレビでビデオ1を選びます。

## ハイビジョン番組をタイマー録画するには

- ビデオ** 電源を入れる
- 本機** 電源を入れる
- 入力切換ボタンを押し「W-VHS」を選ぶ
- 多重音声の番組を録画するときには、16ページの方法で音声を選択してください。
- ビデオ** BS9チャンネルの録画予約をし、タイマーボタンを押す

## WOWOWをタイマー録画するには

- ビデオ** 電源を入れる
- BSデコーダー** 電源を入れる
- 必要に応じてWOWOWやSt.GIGAの音声を選択してください。
- 本機** 電源を入れる
- ビデオ** BS5チャンネルの録画予約をし、タイマーボタンを押す

## ハイビジョン番組録画中にWOWOWを見るには

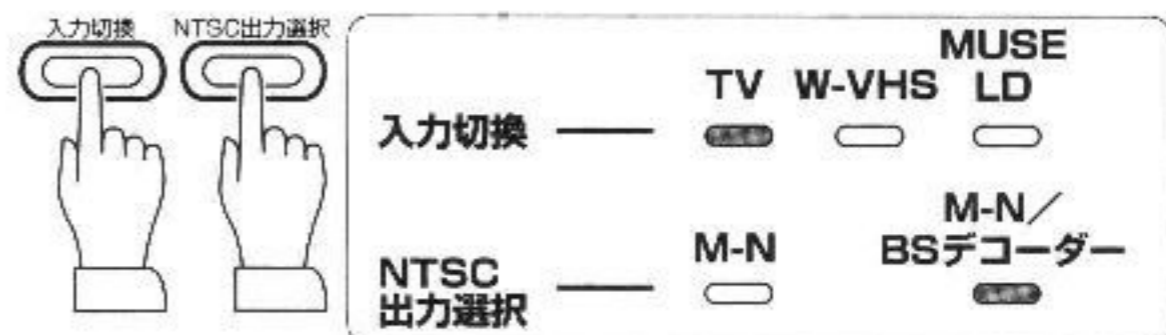
- 本機** 電源を入れる
- 入力切換ボタンを押し「W-VHS」を選ぶ
- NTSC出力選択ボタンを押し、「M-N/BSデコーダー」を選ぶ



- ビデオ** BS9チャンネルを選び、録画の操作をする
- テレビ** BS5チャンネルを選ぶ
- BSデコーダー** 電源を入れる
- 必要に応じてWOWOWやSt.GIGAの音声を選択してください。

## WOWOW録画中にハイビジョン放送を見るには

- 本機** 電源を入れる
- 入力切換ボタンを押し「TV」を選ぶ
- NTSC出力選択ボタンを押し、「M-N/BSデコーダー」を選ぶ

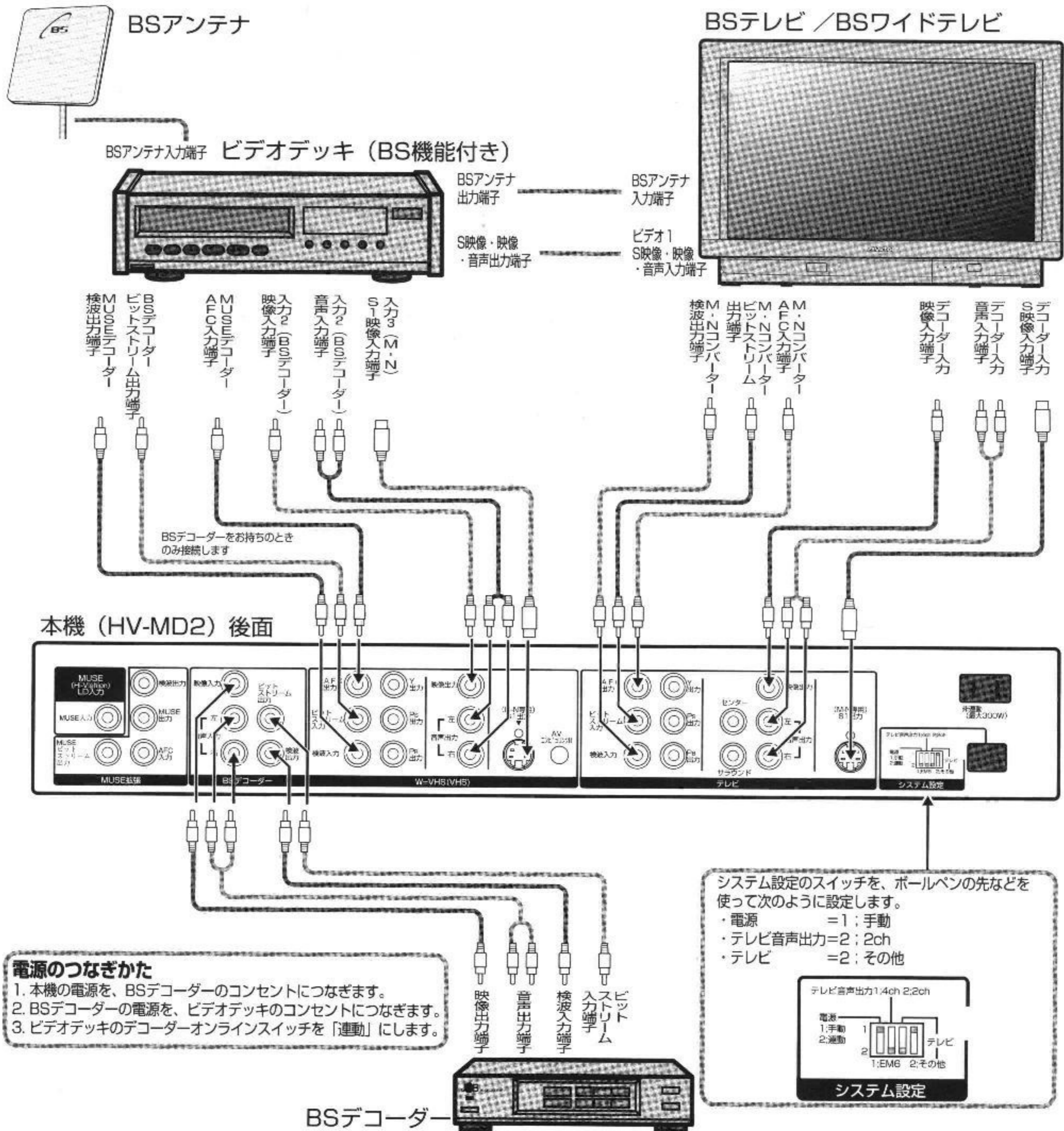


- BSデコーダー** 電源を入れる
- 必要に応じてWOWOWやSt.GIGAの音声を選択してください。
- ビデオ** BS5チャンネルを選び、録画の操作をする
- テレビ** BS9チャンネルを選ぶ

# BSテレビ/ワイドテレビ・BSビデオとの接続

- 必ず接続する機器の電源を切ってから接続してください。
- 接続コードは、市販のピンコードをお使いください。
- 接続する機器の取扱説明書をあわせてお読みください。
- 当社のテレビ、ビデオを例に説明しています。
- 機器によっては端子などの名称が異なる場合があります。

ハイビジョン番組の映像は、NTSCに変換されてビデオに録画されます。このため、録画した番組は、ハイビジョン本来の画質にはなりません。





## ハイビジョン番組を見るには

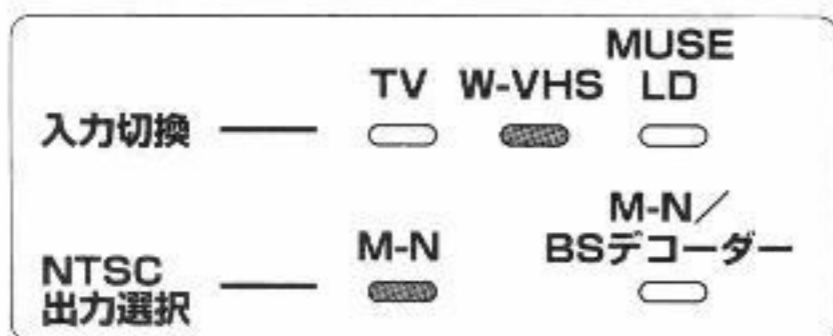
- ビデオ** 電源を入れる
- テレビ** BS9チャンネルを選ぶ
- 本機** 電源を入れる  
入力切換ボタンを押し「TV」を選ぶ  
ズーム/フルボタンを押して、お手持ちのテレビに合った映像状態を選ぶ  
通常のテレビ：ズームを選びます  
ワイドテレビ：フルを選びます
  - ズームを選ぶと16：9の映像の左右をカットして、中心部分だけをテレビに映します。
  - フルを選ぶと、16：9の映像をそのままワイドテレビに映します。通常のテレビをお使いのときにフルを選ぶと、映像が正しく映りません。
  - 多重音声の番組を見るときは、16ページの方法で音声を選択してください。

## WOWOWを見るには

- ビデオ** 電源を入れる
- BSデコーダー** 電源を入れる
  - 必要に応じてWOWOWやSt.GIGAの音声を選択してください。
- テレビ** BS5チャンネルを選ぶ
- 本機** NTSC出力選択ボタンを押し「M-N」を選ぶ

## ハイビジョン番組を録画するには

- 本機** 電源を入れる  
入力切換ボタンを押し「W-VHS」を選ぶ



- ビデオ** BS9チャンネルを選び、録画の操作をする
  - 録画中の番組を見るときは、テレビでビデオ1を選びます。

## ハイビジョン番組をタイマー録画するには

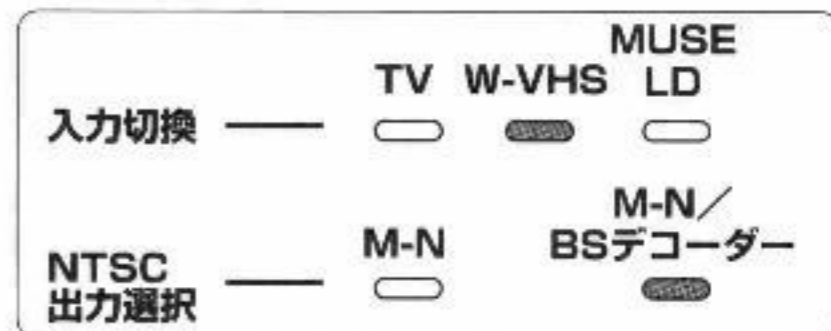
- ビデオ** 電源を入れる
- 本機** 電源を入れる  
入力切換ボタンを押し「W-VHS」を選ぶ
  - 多重音声の番組を録画するとき、16ページの方法で音声を選択してください。
- ビデオ** BS9チャンネルの録画予約をし、タイマーボタンを押す

## WOWOWをタイマー録画するには

- ビデオ** 電源を入れる
- BSデコーダー** 電源を入れる
  - 必要に応じてWOWOWやSt.GIGAの音声を選択してください。
- 本機** 電源を入れる
- ビデオ** BS5チャンネルの録画予約をし、タイマーボタンを押す

## ハイビジョン番組録画中にWOWOWを見るには

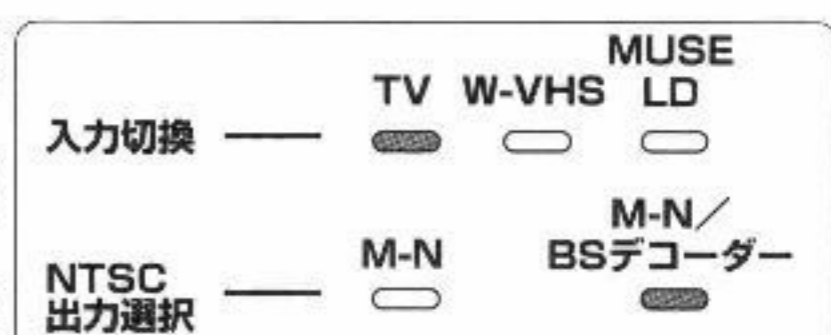
- 本機** 電源を入れる  
入力切換ボタンを押し「W-VHS」を選ぶ  
NTSC出力選択ボタンを押し、「M-N/BSデコーダー」を選ぶ



- ビデオ** BS9チャンネルを選び、録画の操作をする
- テレビ** BS5チャンネルを選ぶ
- BSデコーダー** 電源を入れる
  - 必要に応じてWOWOWやSt.GIGAの音声を選択してください。

## WOWOW録画中にハイビジョン番組を見るには

- 本機** 電源を入れる  
入力切換ボタンを押し「TV」を選ぶ  
NTSC出力選択ボタンを押し、「M-N/BSデコーダー」を選ぶ

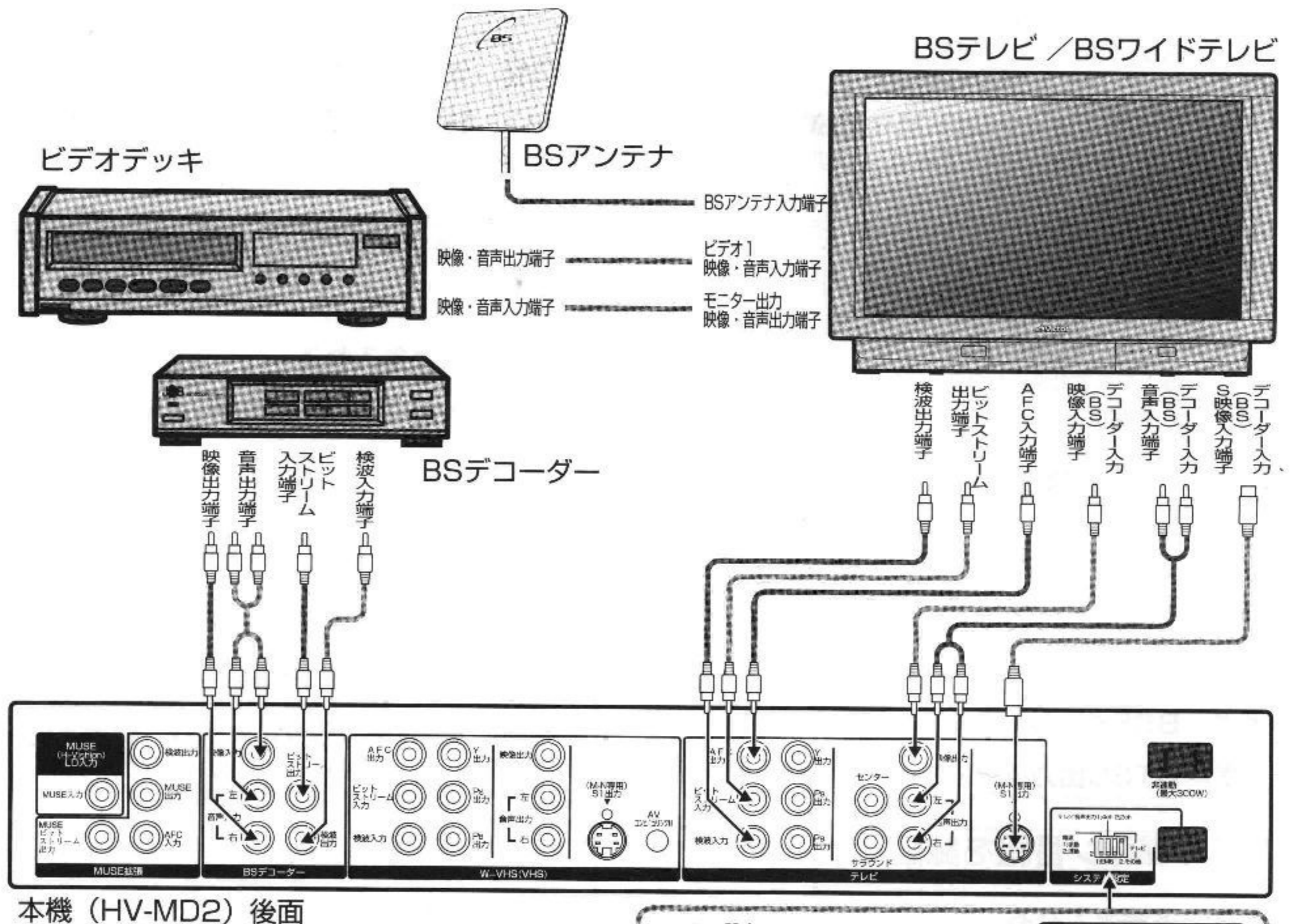


- BSデコーダー** 電源を入れる
  - 必要に応じてWOWOWやSt.GIGAの音声を選択してください。
- ビデオ** BS5チャンネルを選び、録画の操作をする
- テレビ** BS9チャンネルを選ぶ

# BSテレビ/ワイドテレビ・ビデオとの接続

- 必ず接続する機器の電源を切ってから接続してください。
- 接続コードは、市販のピンコードをお使いください。
- 接続する機器の取扱説明書をあわせてお読みください。
- 当社のテレビ、ビデオを例に説明しています。
- 機器によっては端子などの名称が異なる場合があります。

ハイビジョン番組の映像は、NTSCに変換されてビデオに録画されます。このため、録画した番組は、ハイビジョン本来の画質にはなりません。

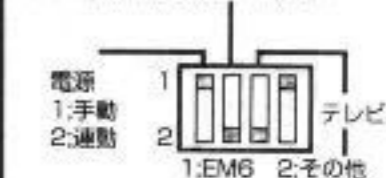


本機 (HV-MD2) 後面

システム設定のスイッチを、ボールペンの先などを使って次のように設定します。

- ・電源 = 2: 連動
- ・テレビ音声出力 = 2: 2ch
- ・テレビ = 2: その他

テレビ音声出力 1: 4ch 2: 2ch



システム設定

## ハイビジョン番組を見るには

**テレビ** BS9チャンネルを選ぶ

**本機** ズーム/フルボタンを押して、お手持ちのテレビに合った映像を選ぶ

通常のテレビ：ズームを選びます  
ワイドテレビ：フルを選びます

- 多重音声の番組を見るときは、16ページの方法で音声を選択してください。

## WOWOWを見るには

**BSデコーダ** 電源を入れる

- 必要に応じてWOWOWやSt.GIGAの音声を選択してください。

**テレビ** BS5チャンネルを選ぶ

**本機** NTSC出力選択ボタンを押し「M-N」を選ぶ  
「M-N」のランプだけが点灯した状態になります。

# 3-1サラウンドを楽しむための接続

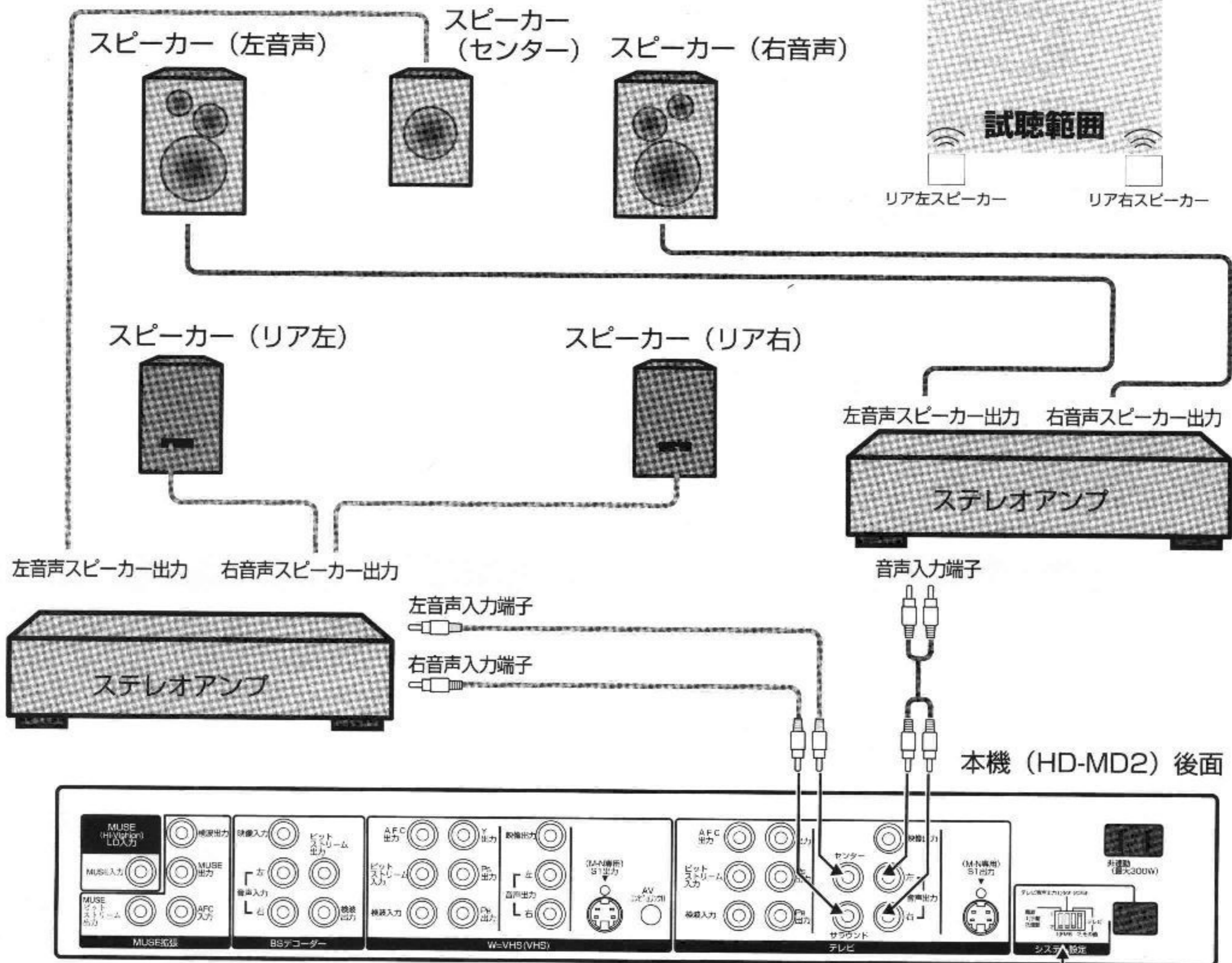
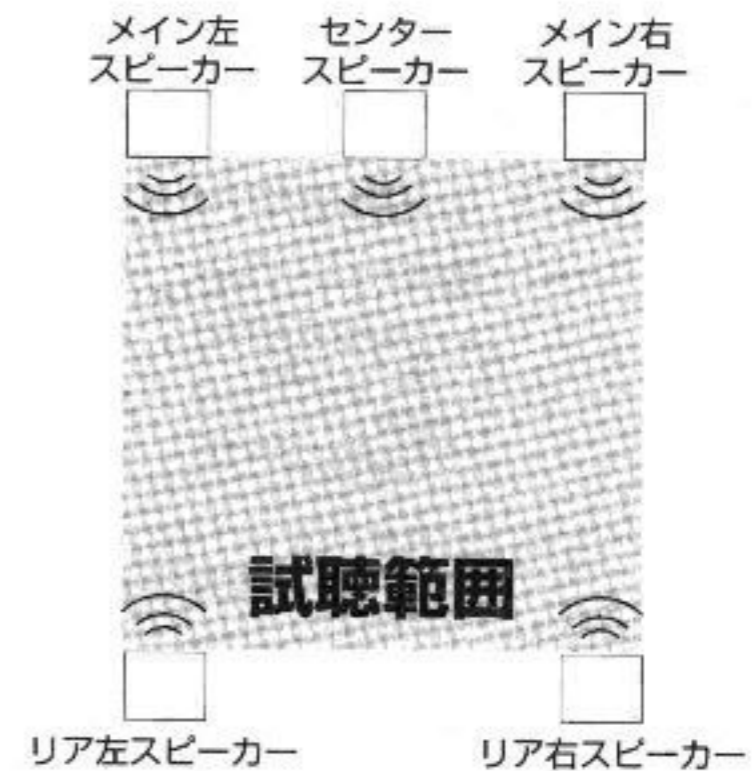
## アンプ、スピーカーの接続

本機とアンプ、スピーカーを下図のように接続すると、3-1方式ステレオ音声でつくられたハイビジョン番組を、サラウンド音声でお楽しみいただけます。

### 3-1方式ステレオについて

4つの音声信号（前方3チャンネルと後方1チャンネル）によって、視聴者を取り囲むようにスピーカーを配置し、コンサートホールやスポーツ競技場など、実際にその場にいるような臨場感あふれる音場再生が得られます。5つのスピーカーに囲まれた内側で試聴します。

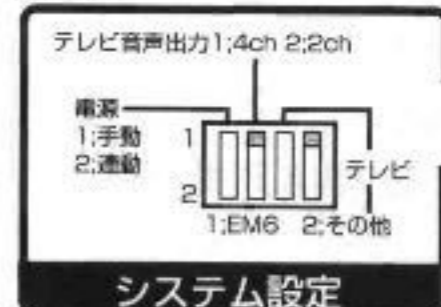
- 必ず電源を切ってから接続してください。
- 接続コードは、市販のピンコードをお使いください。
- 接続する機器の取扱説明書をあわせてお読みください。



### お願い

- スピーカーは防磁タイプのものをお使いください。
- スピーカーをテレビに近づけすぎないでください。スピーカーから発生する磁気の影響で画面に色むらが出る場合があります。スピーカーはテレビから20~30cm以上離して置いてください。スピーカーを離して置いても色むらが出る時は、いったん電源を切り、約30分間そのままにしておきます。その後、再び電源を入れます。
- リアスピーカー（サラウンド音声）2台を1つのスピーカー出力端子に並列に接続してお使いになるときは、スピーカーの合成インピーダンスにご注意ください。アンプのスピーカー端子の許容インピーダンスを調べ、その2倍のインピーダンスのスピーカーお使いください。  
(例：アンプのスピーカー端子の許容インピーダンスが8オームのときは、スピーカーはインピーダンスが16オームのものを 사용합니다。)

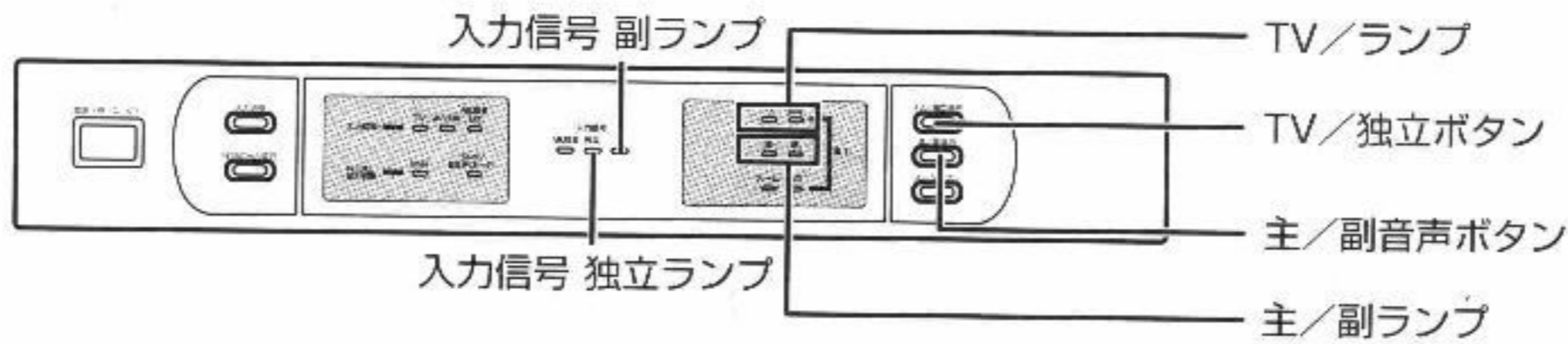
システム設定のテレビ音声出力スイッチを、ボールペンの先などを使って「1;4ch」に設定します。



\*「電源」「テレビ」はテレビにあわせて設定します。

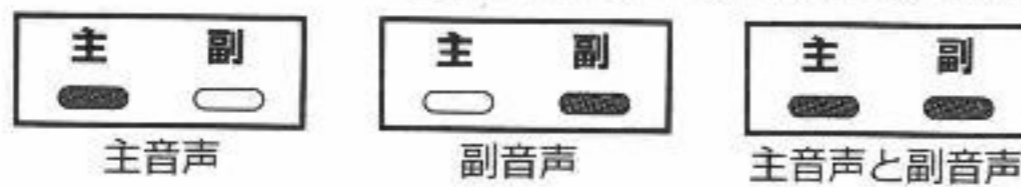
# 音声切換／仕様(1)

MUSE方式のハイビジョン番組では、さまざまな方式で音声を放送しています。このうち、多重音声放送（主音声、副音声）、独立音声放送（映像と関係のない音声）が放送されている場合は、音声の選択が必要です。



## 多重音声の選択

本体前面の主／副ボタンを押して、音声を選びます。音声は、ボタンを押すたびに切り換わります。



●二重音声放送のときは、入力信号 副ランプが点灯します。

## TV/独立音声の選択

本体前面のTV/独立ボタンを押して、音声を選びます。独立音声を選ぶと、本体前面の独立ランプが点灯します。



●独立音声放送されているときは、入力信号 独立ランプが点灯します。

## 仕様 (1)

※このMUSEデコーダーは日本国内専用です。電源電圧、放送方式の異なる外国ではご使用できません。

This MUSE Decoder set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

※仕様および外観は改良のため予告無く変更することがありますのでご了承ください。

※本説明書の図は、説明をわかりやすくするために、誇張、省略、合成しています。実物とは多少異なりますのでご了承ください。

※本機はマイコンやデジタル回路を用いた機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。本機が正常に動作しなくなった場合は、一度電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、改めてコンセントに差し込み、電源を入れて操作してください。

※S1映像出力とAVコンピュリンクII端子以外はすべてピンジャックです。

S1映像出力：ミニDIN4ピン AVコンピュリンクII端子：ミニジャック

項目	型名	HV-MD2
種類	MUSEデコーダー／MUSE-NTSCコンバーター	
使用電源	AC100V、50/60Hz	
消費電力	21W（電源切時 2.1W）	
電源出力	AC100V、50/60Hz 非連動、BSデコーダー用コンセント 最大300W	
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	43.5×7.6×36.5cm	
重量	4.9kg	
付属ケーブル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハイビジョン映像用ケーブル（赤、緑、青の3本1組／本機－テレビ接続用） 1</li> <li>・検波、AFC、S映像用ケーブル（黒の3本1組／本機－テレビ、本機－ビデオデッキ接続用） 2</li> <li>・映像・音声用ケーブル（黄、赤、白の3本1組／本機－テレビ接続用） 1</li> <li>・ビットストリーム用ケーブル（黒の1本のみ／本機－テレビ接続用） 1</li> </ul>	



# 故障かな?と思ったら/仕様(2)

修理をご依頼される前に、もう一度次の点を確認してください。それでも不具合や異常があるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

## 症状

電源が入らない

留守録のとき電源が自動的に入らない

映像がでない

音声がでない

映像がワイド画面全体に映らない

映像が縦に伸びている

## ここをお確かめください

- ・電源プラグがはずれていませんか。
- ・AVコンピュリンクケーブルは、正しく接続されていますか。
- ・接続ケーブルがぬけていませんか。
- ・テレビなどの接続機器の電源は入っていますか。
- ・入力切換は正しく選ばれていますか。
- ・テレビなどで、衛星放送のチャンネルが正しく選ばれていますか。
- ・テレビなどの接続機器の入力は正しく選ばれていますか。
- ・テレビやオーディオ機器の音量が最小になっていませんか。
- ・テレビにイヤホンやヘッドホンが差し込まれていませんか。
- ・システム設定のテレビ音声出力は2chに設定されていますか。
- ・ズームモードになっていませんか。  
ワイドテレビで見るときはフルモードにしてください。
- ・フルモードになっていませんか。  
ふつうのテレビで見るときはズームモードにしてください。

### このようなときは故障ではありません。

衛星放送を使ったハイビジョン番組は、衛星放送と同様に、豪雨や雷雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声に雑音が出たり、ひどい場合にはまったく受信できなくなることがあります。

## 仕様 (2)

項目	型名	HV-MD2		
入力・出力端子	W-VHS (VHS) (Hi-Vision VTR)	検波入力 : 0.4Vp-p (MUSE)、0.67Vp-p (NTSC) ビットストリーム出力 : 0.5Vp-p、75Ω HD映像出力 : Y 1Vp-p、75Ω、3値同期信号付き、 PR 0.7Vp-p、75Ω、3値同期信号付き S1映像出力 : Y 1Vp-p、75Ω、同期信号付き (同期極性は負) C 0.286Vp-p (パースト信号)、75Ω、フルモード時5V重畳 映像出力 : 1Vp-p、75Ω、同期信号付き 音声出力 : 2チャンネル (左右)、250mVrms、(FS-18dB)	AFC出力 : BTA-S1003に準拠	
	テレビ	検波入力 : 0.4Vp-p (MUSE)、0.67Vp-p (NTSC) ビットストリーム出力 : 0.5Vp-p、75Ω HD映像出力 : Y 1Vp-p、75Ω、3値同期信号付き、 PR 0.7Vp-p、75Ω、3値同期信号付き S1映像出力 : Y 1Vp-p、75Ω、同期信号付き (同期極性は負) C 0.286Vp-p (パースト信号)、75Ω、フルモード時5V重畳 映像出力 : 1Vp-p、75Ω、同期信号付き 音声出力 : 4チャンネル (左/右/センター/サラウンド) 250mVrms、(FS-18dB)	AFC出力 : BTA-S1003に準拠	
	BSデコーダー	検波出力 : 0.67Vp-p、75Ω 映像入力 : 1Vp-p、75Ω、同期負	ビットストリーム出力 : 0.5Vp-p、75Ω 音声入力 : 0.5Vrms、ハイビータン	
	Hi-Vision(MUSE)LD	MUSE入力 : 0.4Vp-p (MUSE)、75Ω		
	MUSE拡張	MUSE出力 : 0.4Vp-p (MUSE)、75Ω 検波出力 : 0.4Vp-p (MUSE)、0.67Vp-p (NTSC) MUSEビットストリーム出力 : 0.5Vp-p、75Ω	AFC入力 : BTA S-1003に準拠	

# 保証とアフターサービス

## 保証書 (別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

## 補修用性能部品の最低保有期間

ミュージックデコーダーの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのご相談窓口(下記サービス窓口案内をご覧ください)にお問い合わせください。

## 修理を依頼されるときは

修理をご依頼になる前に、17ページの「故障かな?と思ったら」にしたがって確認をしてください。それでも不具合や異常があるときは、電源を切り、電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店にご連絡ください。

### 保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。  
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

### 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

### ご連絡していただきたい内容

品名	ミュージックデコーダー
型名	HV-MD2
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も合わせて
お名前	
電話番号	( ) -
訪問ご希望日	

### 修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

便利メモ お買い上げの販売店 ( ) -

## ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店にご依頼ください

ご贈答品等で保証書に記載のお買い上げ販売店にご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

## 修理についてのご相談窓口 (ビクターサービスエンジニアリング株式会社)

所在地、電話番号は変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

北海道地区		
札幌S.C.	(011)898-1180	〒004 札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-29
苫小牧S.S.	(0144)34-6682	〒053 苫小牧市緑町2-7-11
室蘭S.S.	(0143)44-8168	〒050 室蘭市宮の森町3丁目13-13
旭川S.C.	(0166)61-3659	〒070 旭川市神居二条3-2-15
北見S.C.	(0157)25-8557	〒090 北見市山下町4-7-19
釧路S.C.	(0154)24-0797	〒085 釧路市若竹町6-13
帯広S.S.	(0155)24-4493	〒080 帯広市東六条南12-11
函館S.S.	(0138)46-5324	〒041 函館市美原3-16-25
東北地区		
青森S.C.	(0177)23-2261	〒030 青森市桂木4-6-17
八戸S.S.	(0178)44-4521	〒031 八戸市青葉2-21-2
弘前S.S.	(0172)28-0165	〒036 弘前市高田1-13-1

盛岡S.C.	(0196)37-0121	〒020 盛岡市津志田12地割字新田堰94番地1
水沢S.S.	(0197)22-2773	〒023 水沢市天文台通り3-12
秋田S.C.	(0188)24-3189	〒010 秋田市山王中園町4-1
大館S.S.	(0186)43-0980	〒017 大館市美園町5-6
横手S.S.	(0182)32-8873	〒013 横手市赤坂字大道向3-6
仙台S.C.	(022)287-0151	〒983 仙台市若林区六丁の目西町7-13
石巻S.S.	(0225)94-7711	〒986 石巻市門脇字四番谷地8-18
山形S.C.	(0236)42-0279	〒990 山形市松山3-12-18
酒田S.S.	(0234)26-7145	〒998 酒田市亀ヶ崎6-6-1
郡山S.C.	(0249)52-6331	〒963 郡山市堤1-3
いわきS.S.	(0246)28-4991	〒970 いわき市平上荒川字桜町19-4
会津若松S.S.	(0242)32-0247	〒965 会津若松市滝沢町1-5
福島S.S.	(0245)53-9437	〒960-01 福島市本内字南原26-1

信越地区		
新潟S.C.	(025)241-0527	〒950 新潟市明石1-2-19
佐渡S.S.	(0259)57-3127	〒952-13 佐渡郡佐和田町 河原田本町93
長岡S.C.	(0258)24-1462	〒940 長岡市下条2-1366-1
上越S.S.	(0255)44-9987	〒942 上越市五智1-11
松本S.C.	(0263)25-9353	〒390 松本市鎌田2-3-50
長野S.C.	(0262)21-9946	〒380 長野市川合新田962-1
上田S.S.	(0268)23-3589	〒386 上田市古里79-1
関東地区		
前橋S.C.	(0272)55-5920	〒371 前橋市大渡町1-19-1
宇都宮S.C.	(028)635-2656	〒320 宇都宮市住吉町17-9
水戸S.C.	(029)246-1531	〒310 水戸市元吉田町1077
土浦S.C.	(0298)22-5946	〒300 土浦市真鍋6-1-25
甲府S.S.	(0552)37-3136	〒400 甲府市湯田2-11-5
千葉S.C.	(043)247-4551	〒261 千葉市美浜区幸町2-1-1
木更津S.S.	(0438)36-6413	〒292 木更津市真船5-4-9
柏S.C.	(0471)75-4321	〒277 柏市豊四季512-10-67
浦安S.C.	(0473)53-6189	〒279 浦安市当代島2-13-27
東京地区		
東京 【出張修理専門】のご相談窓口		
首都圏S.C.	(03)5803-2888	〒113 文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
東京 【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
本郷S.C.	(03)5684-8254	〒113 文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
秋葉原S.S.	(03)3251-2128	〒101 千代田区外神田1-6-6
練馬S.C.	(03)3993-7520	〒176 練馬区豊玉南1-19-1
大田S.C.	(03)3727-9385	〒145 大田区北千束2-20-6
浦安S.S.	(0473)53-6189	〒279 浦安市当代島2-13-27
八王子S.C.	(0426)46-6914	〒192 八王子市大和田町1-11-24
東京 【業務用機器専門】のご相談窓口		
業務機器センター	(03)3874-5231	〒110 台東区根岸5-4-3
埼玉地区		
埼玉 【出張修理専門】のご相談窓口		
首都圏S.C.	(03)5803-2888	〒113 文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
埼玉 【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
大宮S.C.	(048)654-5241	〒330 大宮市東大成町2-658-1
熊谷S.S.	(0485)53-5105	〒361 行田市城西2-7-39 ツインハイツ 石山B
川越S.C.	(0492)42-4496	〒350 川越市小室491-1
神奈川地区		
神奈川東部 【出張修理専門】のご相談窓口		
首都圏S.C.	(03)5803-2888	〒113 文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
神奈川東部 【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
川崎S.C.	(044)975-1879	〒216 川崎市宮前区南平台3-2 (第2石原ビル)
横浜S.C.	(045)651-0403	〒231 横浜市中区翁町1-3-1
相模原S.C.	(0427)76-2052	〒229 相模原市古淵3-7-4
神奈川西部 ご相談窓口		
横須賀S.S.	(0468)34-9161	〒239 横須賀市久里浜6-4-1
平塚S.C.	(0463)23-2686	〒254 平塚市老松町4-9(木村ビル)
小田原S.S.	(0465)24-0657	〒250 小田原市浜町4-1-12
静岡地区		
静岡S.C.	(054)282-4141	〒422 静岡市曲金6-5-28
沼津S.S.	(0559)22-1557	〒410 沼津市筒井町6-5
浜松S.S.	(053)421-3441	〒435 浜松市北島町785
東海・北陸地区		
名古屋S.C.	(0568)25-3235	〒481 西春日井郡西春町 九ノ坪鴨田121-1
三河S.S.	(0564)26-1005	〒444 岡崎市井ノ口町字河原西31
豊橋S.S.	(0532)64-0815	〒440 豊橋市佐藤町字山崎56-2
岐阜S.S.	(058)274-1947	〒500 岐阜市宇佐南3-1-28
三重S.S.	(0593)52-0841	〒510 四日市市堀木2-15-2
津S.S.	(0592)29-7780	〒514 津市大字半田603-1 半田事務所1F
富山S.C.	(0764)25-2397	〒930 富山市総曲輪4-3-5
金沢S.C.	(0762)31-5242	〒920 金沢市長土堀2-1-27
福井S.S.	(0776)53-6916	〒910 福井市西開発3-211

近畿地区		
滋賀S.S.	(0775)82-5812	〒524 守山市浮気町268
京都南部 【出張修理専門】のご相談窓口		
大阪S.C.	(06)304-5731	〒532 大阪市淀川区田川2-4-28
京都南部 【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
京都S.C.	(075)313-3189	〒600 京都市下京区 七条御所の内北町91
京都北部 ご相談窓口		
福知山S.S.	(0773)22-8664	〒620 福知山市厚東町145-2
奈良 【出張修理専門】のご相談窓口		
大阪S.C.	(06)304-5731	〒532 大阪市淀川区田川2-4-28
奈良 【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
奈良S.C.	(0744)24-6271	〒634 橿原市葛本町834-2
大阪 【出張修理専門】のご相談窓口		
大阪S.C.	(06)304-5731	〒532 大阪市淀川区田川2-4-28
大阪 【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
大阪S.C.	(06)304-5731	〒532 大阪市淀川区田川2-4-28
大阪南S.S.	(06)768-5489	〒543 大阪市
堺S.C.	(0722)78-3351	〒593 堺市深井沢町3135
大阪 【業務用機器専門】のご相談窓口		
業務機器部	(06)304-6715	〒532 大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山S.C.	(0734)72-6799	〒640 和歌山市太田430-8
田辺S.S.	(0739)22-9914	〒646 田辺市文里1-19-18
兵庫東部 【出張修理専門】のご相談窓口		
大阪S.C.	(06)304-5731	〒532 大阪市淀川区田川2-4-28
兵庫東部 【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
神戸S.C.	(078)252-0562	〒651 神戸市中央区磯上通3-2-16
明石S.S.	(078)924-1115	〒673 明石市西明石北町3-4-17
兵庫西部 ご相談窓口		
姫路S.S.	(0792)34-3833	〒670 姫路市中地南町11-1
中国地区		
岡山S.C.	(086)243-1566	〒700 岡山市西古松西町8-23
広島S.C.	(082)243-9839	〒730 広島市中区光南3-9-17
福山S.S.	(0849)31-6984	〒721 福山市南蔵王町3-5-15
呉S.S.	(0823)74-9364	〒737 呉市阿賀北3-1-27-101
山口S.C.	(0839)24-3758	〒753 山口市大字吉敷柿木田3446-4
徳山S.S.	(0834)27-1331	〒745 徳山市野上町2-35
下関S.S.	(0832)51-1040	〒751 下関市熊野町2-14-23
四国地区		
高松S.C.	(0878)66-1200	〒761 高松市田村町205-1
徳島S.C.	(0886)22-7387	〒770 徳島市沖浜2-37
高知S.C.	(0888)82-0546	〒780 高知市高須新町4-143
松山S.C.	(0899)23-0372	〒791 松山市中央1-4-12
宇和島S.S.	(0895)20-1018	〒798 宇和島市坂下津甲407-40
新居浜S.S.	(0897)67-1030	〒792 新居浜市松神子2-2-25
九州・沖縄地区		
福岡S.C.	(092)431-1261	〒812-91 福岡市博多区 博多駅前4-16-1
久留米S.C.	(0942)39-3495	〒830 久留米市西町字神浦1-1192
北九州S.C.	(093)921-3981	〒802 北九州市小倉北区 三萩野2-9-3
筑豊S.S.	(0948)29-1146	〒820 飯塚市片島2-22-27
佐賀S.S.	(0952)26-8785	〒840 佐賀市本庄町大字袋265-1
長崎S.C.	(0958)62-5522	〒852 長崎市城山町9-13
佐世保S.S.	(0956)33-5568	〒857-11 佐世保市木風町1467-2
大分S.S.	(0975)43-1422	〒870 大分市大道町4-1-2
熊本S.C.	(096)353-4536	〒861-41 熊本市近見町1218-1
宮崎S.S.	(0985)24-5401	〒880 宮崎市霧島町3-59
延岡S.S.	(0982)35-7077	〒882 延岡市惣領町24-3
鹿児島S.C.	(099)267-3572	〒891-01 鹿児島市小松原2-23-28
沖縄S.C.	(098)898-3631	〒901-22 沖縄県宜野湾市 真志喜1-13-16
山陰地区		
山陰ビクター販売(株) サービス部	(0852)31-2811	〒690 松江市西川津町 1484-3
出雲営業所サービス係	(0853)21-4611	〒693 出雲市今市町854
浜田営業所サービス係	(0855)22-1584	〒697 浜田市長沢町671-1
米子営業所サービス係	(0859)34-2801	〒683 米子市車尾845
鳥取営業所サービス係	(0857)23-2151	〒680 鳥取市富安2-45

ご相談や修理は

**ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、  
お買い上げの販売店にご相談ください。**

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談  
ビクターサービスエンジニアリング株式会社

お買い物相談や製品についての全般的なご相談  
お客様ご相談センター

18～19ページをご覧ください

東京 ☎ (03) 5684-9311 【代表】

〒113 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

大阪 ☎ (06) 765-4161 【代表】

〒543 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

愛情点検

●長年ご使用の機器の点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

ちょっとした  
心づかいで  
テレビの安全



このような  
症状は  
ありませんか

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 上下、または左右の映像が欠けて映る。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。



ご使用を  
中 止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして必ず販売店にご相談下さい。



省エネで  
守る環境  
豊かな暮らし

**Victor JVC**  
**日本ビクター株式会社**

テレビ事業部

〒306-06 茨城県岩井市大字辺田1106番地 電話 (0297) 35-0066